

○基本設計（素案）〈配置図〉

資料 3

敷地面積

小学校敷地（第一種低層住居専用地域）	(m <sup>2</sup> )	
敷地面積	7,265.24	
容積率	80%	5,812
建蔽率(40%+角地緩和10%+耐火建築物10%)	60%	3,487

小学校 面積表		中学校 面積表		合計
階	(m <sup>2</sup> )	階	(m <sup>2</sup> )	
RF	0	RF	40	40
4F	170	4F	1,170	1,340
3F	2,260	3F	1,340	3,600
2F	2,510	2F	1,440	3,950
1F	4,170	1F	2,630	6,800
計	9,110	計	6,620	15,730
容積対象面積	8,920	容積対象面積	6,470	15,390

中学校敷地①（第一種低層住居専用地域）

敷地面積	7,505.11	
容積率	80%	6,004
建蔽率(40%+角地緩和10%+耐火建築物10%)	60%	3,602

中学校敷地②（第二種中高層住居専用地域）

敷地面積	1,793.82	
容積率	200%	3,588
建蔽率(60%+角地緩和10%+耐火建築物10%)	80%	2,870

容積率	92.91%			
建築面積	4,240	建築面積	2,790	7,030
建蔽率	42.44%			

敷地面積の合計

敷地面積の合計	16,564.2
延べ面積(計画可能最大値)	15,403.9
容積率	93.00%
建築面積(計画可能最大値)	9,959.9
建蔽率	60.13%

**提案VI①**  
 ・学校エリアとは別に「災害対応エリア」を段階的に区分  
 ⇒ 早期に学校運営を再開可能

**提案VI②**  
 ・小中の校庭・体育館をサブ動線でつなぐ  
 ⇒ 災害時に相互連携しやすい

**提案IV②**  
 ・高井戸公園内に計画予定の多目的広場を小学校の運動場として活用  
 ・放課後および休日は地域に開放し、地域の運動環境の向上を図る

**提案II①**  
 ・中学校の校庭面積を4,000㎡以上確保  
 ・150mトラックを確保

**提案II③**  
 ・中学校校庭のトラック内にテニスコートを整備  
 ・日射の影響を受けにくい南北配置（長軸）

**提案VI⑤**  
 ・小中学校の間の区道を「スクールモール（南北軸）」として整備  
 ⇒ 子ども達の通学路の安全性向上

**提案VI④**  
 ・狭あい道路の幅や敷地内歩道の整備  
 ⇒ 地域の安全性向上や魅力ある街路空間形成

※多目的広場の位置・形状等は東京都と調整中であり未定です。

※緑化および外構計画については現時点での考え方を示したものであり、今後の設計工程で変更となる可能性があります。

※今後の設計工程で変更となる可能性があります。

○基本設計（素案）〈1階平面図〉

**提案V③**  
 ・多目的室（放課後等居場所の拠点）や  
 体育館からアクセスしやすい場所に計画

原っぱ広場



**提案II④**  
 ・武道やダンスなど多用途に活用可能  
 ・発表会等に配慮し、  
 十分な設備と広さを備えたステージ

**提案I①**  
 ・生徒更衣室を近接して配置し、学年単位の  
 発表会やえんげき等、多目的に利用可能  
 ・地域開放可能な交流室として、地域住民が  
 使いやすいように1階に配置

**提案II②**  
 ・小中をつなぐサブ動線（東西軸）から  
 アクセスしやすい位置に校庭や体育館を配置  
 ・地域住民が利用しやすく、職員が管理しやすい

**提案III③**  
 ・地域玄関からア  
 クセスしやすく、職  
 員室に近い1階  
 に計画

**提案III②**  
 ・サブ動線（東西軸）  
 から直接アクセス  
 ・守衛室に近接配置  
 ⇒利便性および安  
 全性向上

凡例

普通教室	多目的室・アリーナ	特別教室	共用部
特別教室	管理講堂	給食室	倉庫等
特別教室	学童クラブ	昇降口	昇降口
特別教室	学童クラブ	給食室	E V

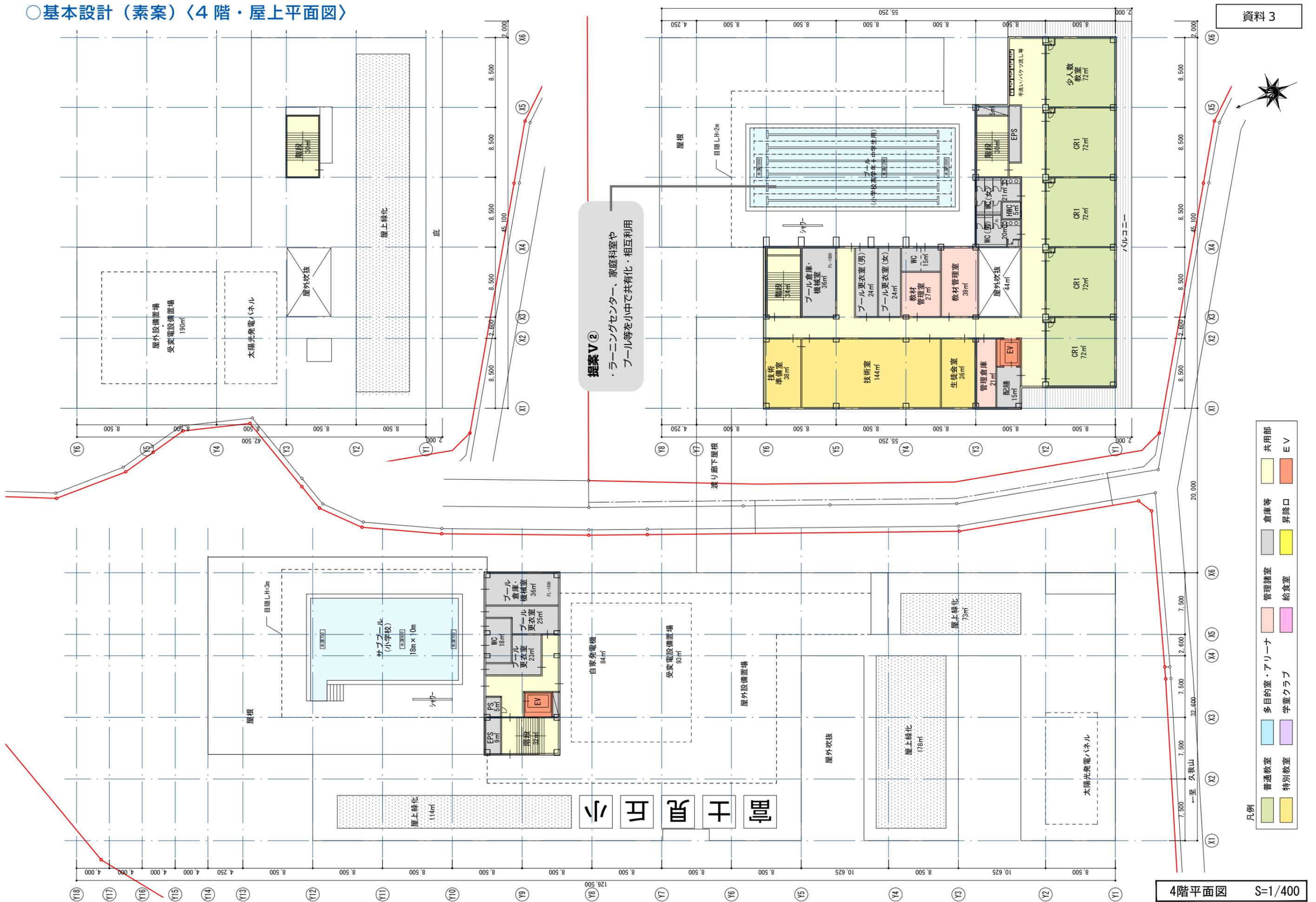
1階平面図 S-1/400

※今後の設計工種で変更となる可能性があります。





○基本設計（素案）〈4階・屋上平面図〉



**提案V②**  
 ・ラーニングセンター、家庭科室や  
 プール等を小中で共有化・相互利用

- 凡例
- 普通教室
  - 特別教室
  - 多目的室・アリーナ
  - 学童クラブ
  - 管理諸室
  - 給食室
  - 倉庫等
  - 昇降口
  - 共用部
  - EV

4階平面図 S=1/400

※今後の設計工程で変更となる可能性があります。